

牛群検定の利活用などについて解説記事を掲載しています

1 繁殖台帳Webシステムの紹介

デーリイマン10月号 シリーズ発情を見極める

繁殖台帳Webシステムを利用した繁殖管理について解説。新機能である検定情報サマリーや交配種雄牛情報についても紹介してあります。

2 新しい検定成績表について（その22）－経営情報の見方（損益分岐点）－

LIAJニュース（家畜改良事業団）No 136 平成24年9月号

儲かってますか？1頭あたり北海道では8090kg、都府県では7495kgを年間に搾らなければ儲かっているとは言えません。その理由は本解説で詳しく紹介しております。入手については、最寄りの種雄牛センターまたは事業所にお問い合わせいただければ、無料でお送りします。

バックナンバーは、以下の当団ホームページをご参照下さい。

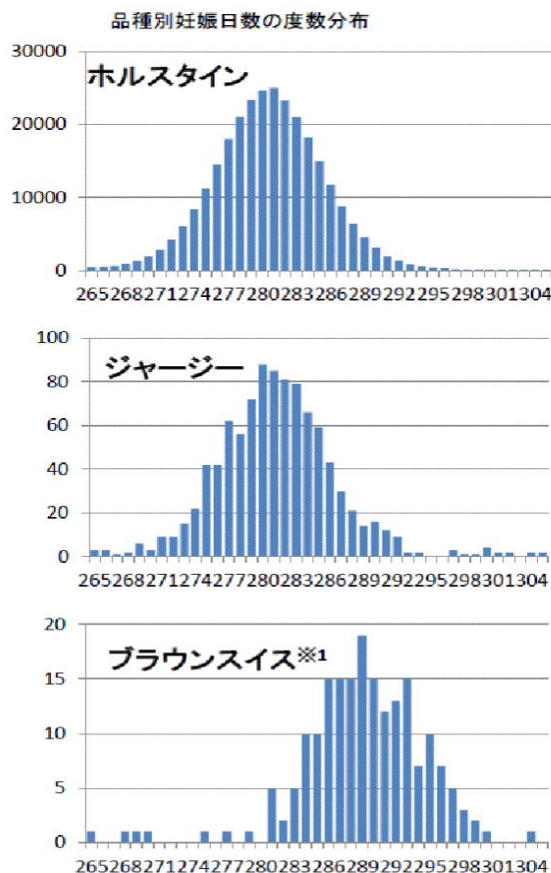
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/kentei/kentei.html>

牛群検定情報

検索

品種別検定成績がまとまりました。

平成23年度 成績	305日成績				分娩間隔	初産月齢	妊娠期間
	乳量	乳脂率	蛋白質率	無脂固形分率			
ホルスタイン種	9225kg	3.91%	3.23%	8.72%	438日	25カ月	280.6日
ジャージー種	6124kg	4.97%	3.83%	9.21%	411日	26カ月	281.3日
ブラウンスイス種	7167kg	4.27%	3.50%	8.97%	457日	29カ月	289.1日



ブラウンスイス種は数年前まではほとんど飼養されていませんでしたが、平成24年3月現在で北海道331頭、都府県354頭が牛群検定に加入しています。そこで、ブラウンスイス種やジャージー種といった多様な品種においても牛群検定成績を利活用頂けるように品種別検定成績を従来よりも詳細に集計することとしました。

ブラウンスイス種は妊娠期間が9日ほどホルスタイン種より長いようです。検定成績表の分娩予定日は妊娠期間280日で計算されていますので、9日程度加算して利用してください。詳しくは、ホームページをご覧ください。

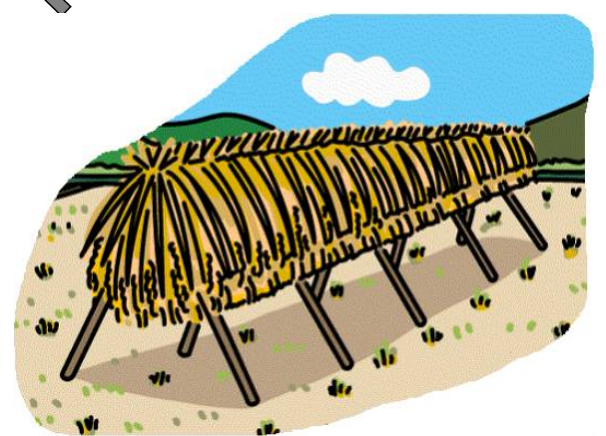
<http://liaj.lin.gr.jp/japanese/newmilk/index.html>

乳牛最新情報

検索

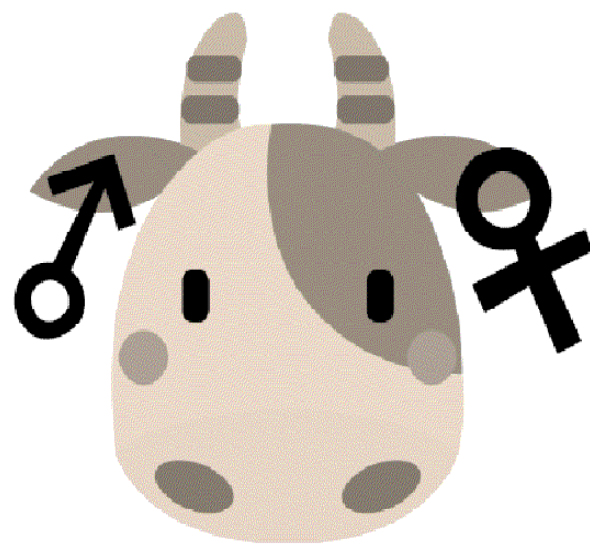
新しい稲ワラの利用上の注意点

検定農家のみなさんには、稲ワラを利用されている方も大勢いらっしゃると思います。新しい稲ワラを敷料にすれば乳牛も気持ち良さそうに見えますが、注意が必要です。我が国の水田には、ヒメモノアラガイという巻き貝が広く生息しています。ヒメモノアラガイは肝蛭という寄生虫の宿主です。この寄生虫を牛が食べると肝臓に入り「肝蛭症」という疾病を引き起こします。肝蛭症は、下痢、消瘦、繁殖障害と様々な症状を示し、著しく生産性を落とすのが特徴です。新しい稲ワラは、ヒメモノアラガイが死滅するように、4カ月以上保存してから利用するか、飼料稲などはサイレージにしてから給与することが必要です。



牛群検定に未経産加入すれば、性選別精液も有効に利用できます！

後継牛の生産に、性選別精液を利用される方が増えています。雌子牛が高確率で生まれる性選別精液は大変魅力的です。性選別精液は受胎率の関係もあり、未経産牛に利用される方が多いと思います。ところで、「未経産牛は、これから搾る牛で検定成績も不明だからどれも一緒」とか、「この未経産の母牛は高乳量だったから、是非後継牛が欲しい」とか、考えていませんか？現在の牛群検定では、一定の要件(注1)を満たしていれば、未経産牛についても、遺伝評価成績(PA)を表示しています。この遺伝評価成績を利用すれば、せっかくの性選別精液をより高能力の未経産牛に有効に利用できます。しかも、牛群検定への未経産加入は、**検定料金無料**です。性選別精液のご利用を考えられている方は、是非とも早期に未経産加入(注2)して、遺伝評価成績を確認してから交配するようにしてください。



また、経産牛の中では比較的受胎率の良い初産牛に性選別精液を利用する場合でも、未経産加入しておかないと、改良情報の発行は4カ月に一度なので、授精適期に遺伝評価成績を得られない場合があります。未経産加入しておけば、事前にPAとして遺伝評価成績を得られます。

生産量が少なく、入手困難となることの多い貴重な性選別精液です。しっかりした発情や適期授精、正確な取り扱いが必要なのは当然ですが、交配する雌牛も遺伝評価成績によるしっかりした見極めが必要です。これは性選別精液に限らず、通常精液での後継牛生産においても同様です。

牛群検定における性選別精液等の報告方法

①性選別精液

性選別精液を用いた場合は、ストローに印字されている略号を報告してください。ストローには略号の末尾に、SX、SXF、X、Fなど、性選別精液であることを示す記号が印字されています。

具体例:JP5H53241SX

②性選別精液を用いた体外受精卵

体外受精卵の場合は、略号がストローに印字されていません。受精卵の父牛略号を調査し、雌の場合はX、雄の場合はYを略号末尾に付加して報告して下さい。

具体例①:スミットランド フリー トレジャーの体外受精卵の雌の場合
JP5H53414X

具体例②:シゲカツサカエ(茂勝栄)の体外受精卵の雄の場合
Pクロ493Y

なお、受精卵移植ですので、ETの報告として「E」を必ず報告して下さい。

(注1) 遺伝評価成績(PA)の要件

血統登録されている未経産牛で、父牛母牛ともに遺伝評価成績を有していること。

(注2) 早期の未経産加入

生まれて直ぐに検定加入することもできます。遅くとも、初回種付けの開始以前(10カ月齢程度)に検定加入してください。

検定成績表の解説書が出版されます

以前からご希望の多かった検定成績表の解説書を以下のとおり出版することとなりました。検定成績表の見方や活用法を詳細に解説します。

(1) 書名

今日も明日も牛群検定が約束するあなたの酪農経営！～検定成績表の活用法～

(2) 出版価格

2,800円税込み

A4版 120ページ程度

ただし、検定組合での共同購入の場合は2,400円税込み

〔共同購入については所属する検定組合に問い合わせください。
ご不明な場合は家畜改良事業団まで(T03-5621-8921 F03-5621-8922 toiwase@liaj.or.jp)〕

(3) 出版社

デーリイジャパン社

(4) 出版時期(予定)

平成25年1月ごろ

